



2022年12月7日

「Partnership for Carbon Accounting Financials (PCAF)」への加盟について

千葉銀行（頭取 米本 努）は、投融資ポートフォリオのGHG（温室効果ガス）排出量の測定・開示に係る取組みを進める国際的イニシアチブである「Partnership for Carbon Accounting Financials、（以下「PCAF」）」に加盟しましたので、お知らせします。



PCAFとは、投融資を介して間接的に排出されるGHG排出量の測定・開示基準の作成に主導的な役割を果たす世界的な組織で、2022年11月現在、6大陸から300以上の金融機関が参加し、北米、中南米、ヨーロッパ、アフリカ、アジア太平洋地域で急速に拡大しています。

当行は、PCAFへの加盟により、PCAFが保有する知見およびデータベースを活用し、投融資先のお客さまに対するGHG排出量の測定・開示に向けた取組みを推進していきます。

また、当行は2022年3月、2030年度までにカーボンニュートラル[※]達成を目指すことを公表し、CO₂排出量削減に向けて取り組んでおり、今後も、お客さまや地域とともに「脱炭素社会」の実現に向けた取組みを強化してまいります。

※CO₂排出量をネットゼロにすること。当行ではCO₂排出にかかるScope 1（直接排出量）とScope 2（エネルギー起源間接排出量）を対象とする。

以上

<本件の取組みに関するゴール>

